

## 建設ディレクター育成講座、厚生労働省「人材開発支援助成金」のご紹介

建設ディレクター育成講座は、厚生労働省の助成金「人材開発支援助成金」をご利用いただけます。  
 申請されるコース（人材育成支援・事業展開等リスクリテラシー支援）選択は自社の受講目的（※1）によってご検討ください。  
 どちらのコースをご利用されても講座内容は同じです。

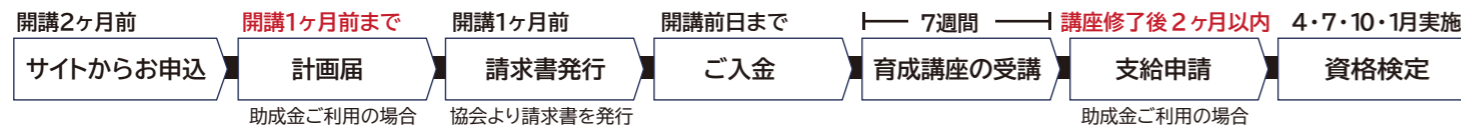


講座お申し込み ▶▶

助成金コース	人材育成支援	事業展開等リスクリテラシー支援
目的 (※1)	多様な職業能力開発の機会として労働者に職務に関連した専門的な知識や技能を追加して習得させる、または新たな職業の遂行に必要な知識や技能を習得させるため。	事業展開を行うにあたり、新たな分野で必要となる専門的な知識及び技能の習得をさせるため。 もしくは事業展開は行わないが、事業主において企業内のDX化やグリーン・カーボンニュートラル化を進める場合にこれに関連する業務に従事させる上で必要となる専門的な知識及び技能の習得をさせるため。
助成条件	・対象が雇用保険加入者であること ・全プログラムの80%以上を出席していること	
経費助成額	148,500円(受講料330,000 円の45%)	150,000円(経費助成の上限額)
自社ご負担額	<b>181,500</b> 円 + 受検手数料 11,000 円 (税込) + メンバー会費 13,200 円 (税込)	<b>180,000</b> 円 + 受検手数料 11,000 円 (税込) + メンバー会費 13,200 円 (税込)

助成金のご利用は開講1カ月前までに労働局へ計画届の提出が必要になります。中小企業（労働者300人以下、資本金3億円以下）以外は助成金額が上表と異なります。諸条件により、助成額は変動いたします。助成金をご利用されない場合、通常の講座費用は**330,000円**（税込）になります。お申込時は講座費用をご入金いただき、受講修了後に支給審査の上（支給の場合）労働局から助成費用が支給されます。お申込時にメールにて助成金に関する必要書類の一覧等をご案内しております。  
 ※建設ディレクター受検手数料：11,000円、KDNメンバー（年）会費：13,200円（開講日より月割りでご請求）は助成対象ではありませんのでご注意ください。

### お申込みから資格認定までの流れ



詳しく知りたい方へ

まずは資料請求へ！

動画・資料ダウンロードできます

社内共有に！他社事例や成果がわかる！



もっと！詳しく知りたい方へ

オンライン説明会にご参加ください

受講をご検討中の企業さま向けの説明会です

「建設ディレクターとは...？」

建設現場の新しい職種「建設ディレクター」。その業務内容、導入による効果、求められる人物像、そして育成方法について、関心をお持ちの皆さまに向けて詳しくご説明いたします。

お気軽にお申込みください！！

お申し込みはこちら



### engineer VOICE

導入による時間の余裕が  
 工事成績の評価点につながった

抱えていた工事書類データを建設ディレクターが引き受けてくれたので定時で帰宅することが多くなりました。時間の余裕が心の余裕につながり、お互いで作業を分担、連携しているからこそ生まれる創意工夫があり、工事評定点が高くなるなど目に見える結果も出てきています。



現場でしかできない  
 業務に集中できる

現場で確認したいことや気になる箇所をメールやチャットで尋ねればその場で建設ディレクターから返事が来る、自分は現場にいてももう一人の分身がオフィスにいるイメージです。そのおかげで現場の自分はその場でできない工事の段取りや、施工ロスの確認、安全管理、施主との対応に集中できるので、この協業体制は大きいと思います。



現場とオフィスをつなぐ、

既存社員 or 新規採用

「建設ディレクター」を社内で育成しませんか



## 建設ディレクター育成講座申し込み受付中

建設ディレクター育成講座は建設会社に既にお勤めの方、もしくは採用が決定された方が対象です

人材の定着、業務標準化に

01 技術者の残業削減

建設ディレクターはリクルートに強い！

02 若手人材の採用

チームで働く組織へ

03 現場連携で成果を

ITとコミュニケーションで現場を支える！



詳しくはこちら



# 「建設ディレクター」とはー

## ITとコミュニケーションで現場とオフィスをつなぐ新しい職域

チームで現場を管理する体制づくりの中心的な存在として、現場と連携し、工事データ作成や施工データ整理、ICT業務を担います。若手の早期活躍や人材の定着、組織の活性化の実現など、経営改革を後押しします。

### 01 建設ディレクター受講対象者

建設業の基礎知識習得を希望される建設会社の社員を対象とし、企業全体の技術力向上と内製化を目指します。

※専任・兼任は各社の方針により様々です。



現在活躍している建設ディレクターの76%は、異業種・新卒など未経験からの入職者です。

### 02 建設ディレクターの仕組み

現場とオフィス間で途切れがちだった情報や業務を、建設ディレクターがつなぎ、調整する役割を担います。



#### 建設ディレクターの主な業務

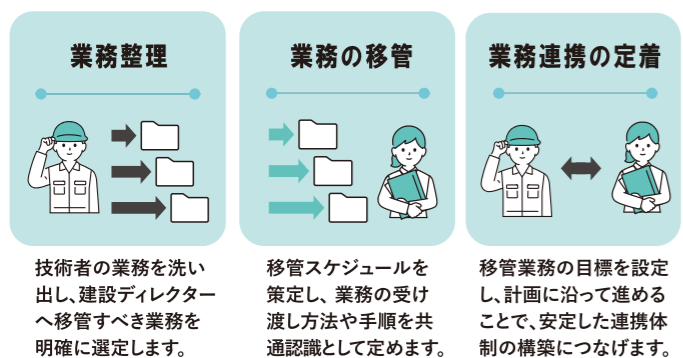
**工事データ作成**  
施工体制台帳/安全書類/写真管理/図面修正/施工計画書/コリンス/マニフェスト/出来形/竣工書類 等

**ICT業務**  
ドローン測量/点群データ取得・処理/3Dモデル作成/遠隔支援 等

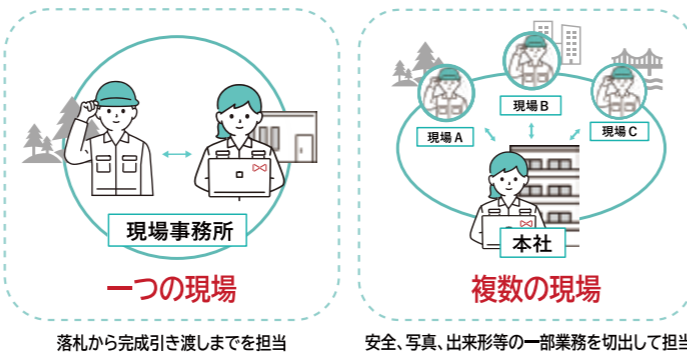
### 03 技術者と建設ディレクターの業務連携

建設ディレクター定着には、業務連携体制をいち早く確立することが重要です。

#### 業務連携の流れ

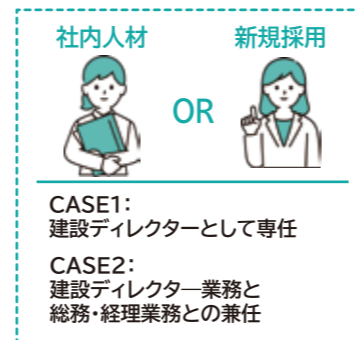


#### 働き方イメージ



### 建設ディレクター育成のながれ

#### STEP1 候補者の決定



#### STEP2 育成講座 (全8講座) 受講



#### STEP3 業務連携



既存社員を育成する場合、建設ディレクターとして専任するケースと事務・総務業務と兼任して働くケースがあります。新規採用の場合、建設ディレクター専任として採用するケースが多いですが、他業務と兼任して働くケースもあります。

育成講座は、全8回のカリキュラムで構成されています。受講期間は開始から修了まで約7週間となり、建設ディレクターに必要な建設業全体や工事書類の基礎知識、ICT活用のための知識など多岐にわたり学びます。講習期間中は繰り返し動画の視聴が可能で、土木・建築・設備・電気工事等幅広い業種の方に受講いただいています。

建設ディレクターの働き方を定着させるには現場の受入体制が必要です。技術者の業務範囲を再設定し、建設ディレクターとの分業範囲を決定します。予定に沿って移管を進め、連携体制を確立させます。

### 育成講座カリキュラム

育成講座は建設ディレクターに必要な全8回のカリキュラムで構成されています。7週間の受講期間中に合計30時間の講座内容を学習していただけます。オンデマンド講座は期間内に繰り返し視聴でき復習することが可能です。毎回の講習には事前課題を設定しており、自発的に技術者に質問の機会を設けるような課題を用意しています。

講習内容	視聴期間:7週間
全受講期間 7週 30時間	オンデマンド講座 30時間
①建設業マネジメント I	建設ディレクターに必要な5つのスキル・導入と定着に必要なこと
②建設基礎 I	社会の動きと高まる建設業の需要・現場代理人の仕事とは
③建設基礎 II	建設工事と施工管理・施工管理の3大管理と相互関係
④建設業マネジメント II	建設業に求められる組織作り・組織作りに必要な専門知識(コーチング、パラダイム等)
⑤工事書類 I	着手前、施工中、竣工プロセスのフローと必要な書類と作成の手法等
⑥工事書類 II	電子納品に付随するデジタル知識(ソフトの活用・共通仕様書)・BIM/CIM
⑦入札と積算	建設業許可、経営事項審査・入札参加、総合評価、工事成績・積算基準/演習
⑧建設ICT活用	建設DX(電子小黒板/遠隔臨場/ASP)・ICT導入マネジメント手法(ドローン/3次元設計)

※期間中はオンデマンド全講座が視聴可能です。講座内容は一部のご紹介です。詳細は当協会HPでご確認ください。

建設ディレクターに必要な

#### 5つのスキルが身に着く!

- ◆ 建設基礎スキル
- ◆ 工事書類作成スキル
- ◆ デジタルスキル
- ◆ コミュニケーションスキル
- ◆ 業務連携スキル

### 受講後もサポートします

建設ディレクターのサポート機関として「KDN(建設ディレクターネットワーク)」を設置しています。会員はメンバー(建設ディレクター)とサポーターに分かれています。メンバーには建設ディレクター交流会や勉強会、専門家による講演、建設ディレクター導入企業による事例報告会等をご提供しています。他に受講企業の経営者、技術者、社員の方々、建設ディレクターに関心をお寄せいただいている方にはサポーターに登録いただき、メンバープログラムの一部にご参加いただく事が可能です。

受講後も継続した学びや交流の場を提供することで建設ディレクターの持続可能な活躍を目指しています。



- ・建設ディレクター1名につき受講時よりメンバー会費が発生します。(サポーター登録は無料)
- ・会費は年会費制となり、13,200円(税込)です。お支払いはサブスクリプション形式(自動更新)となり、ご登録月を起点に1年間ご利用いただけます。
- ・スケジュールやノベルティは変更する場合がございます。

#### Kensetsu Director Network



	年会費	ノベルティ	勉強会	交流会	講演	報告会
メンバー	13,200	●	●	●	●	●
サポーター	受講企業	●	●	●	○	●
	経営者・技術者等	●	●	●	●	●
	一般企業 個人	無料	●	●	●	●
協会・団体 団体	●	●	●	●	●	●